

えんじん 景況レポート

遠軽地方景況レポート（平成23年10月～12月期）No.024



【URL】 <http://www.shinkin.co.jp/engaru/>

発行日 平成24年1月25日
編集/発行 遠軽信用金庫 経営戦略グループ 経営企画部門
【住所】〒099-0495 北海道紋別郡遠軽町大通南1丁目1-15
【電話】(0158) 42-2141 (代表)

● 遠軽地方企業業況調査 調査要領（平成23年10月～12月期）

- 調査時期 平成23年12月1日～平成23年12月7日
- 調査内容 ① 平成23年7月～9月期と比べた平成23年10月～12月期の業況
② 平成23年10月～12月期と比べた平成24年1月～3月期の見通し
- 調査方法 当金庫職員による訪問聞き取り調査（調査表は、信金中央金庫が実施する「全国中小企業景気動向調査」の調査表を使用）
- 調査対象 遠軽地区に事業所を有する当金庫お取引先企業110社
- 業種別内訳

製造業	卸売業	小売業	サービス業	建設業	不動産業	合計
26	5	27	21	29	2	110
- 回答企業数 110社（回答率100%）
- 分析方法 D I（ディフュージョン インデックス）分析
※ 分析においては、卸売業及び不動産業の企業数が少ないため、それぞれ小売業及びサービス業の企業と合算して算出しております。

D I分析について

1. D Iとは
D Iとは、経済事象について、好転・悪化の傾向を判断する指標のことをいいます。
2. 当金庫のD I算出方法
各質問項目につき、「良い」「増加」「上昇」等と回答した企業の割合から、「悪い」「減少」「下降」等と回答した企業の割合を差し引く方法で算出しています。
3. 季節変動について
業況判断D Iは、毎年1～3月期に低下し、4～6月期に上昇するという季節的な変動（季節変動）がありますが、当金庫の分析においては季節変動の調整（季節調整）は行っておりません。

目次

- 遠軽地方企業業況調査 調査要領・・・1 P
- 遠軽地方の定義・・・1 P
- 遠軽地方の業況・・・2 P
- 遠軽地方企業業況調査 調査結果・・・3 P
- グラフで見る調査結果の推移・・・7 P
- 特別調査
平成24年の経営見通し・・・8 P

● 遠軽地方の定義

遠軽信用金庫は、遠軽町を拠点に、北見市・紋別市・旭川市・札幌市まで、道内9市20町を営業地区とし、広域に渡って事業展開をしております。その中から、遠軽町・湧別町・佐呂間町の3町を「遠軽地方」と定義し、その地域で事業を行っているお取引先企業の中から、業況調査の対象先を選出させていただいております。


















遠軽地方の業況（2011年10月～12月期）

今期の景気動向調査結果から業種別の業況天気図を作成しました。

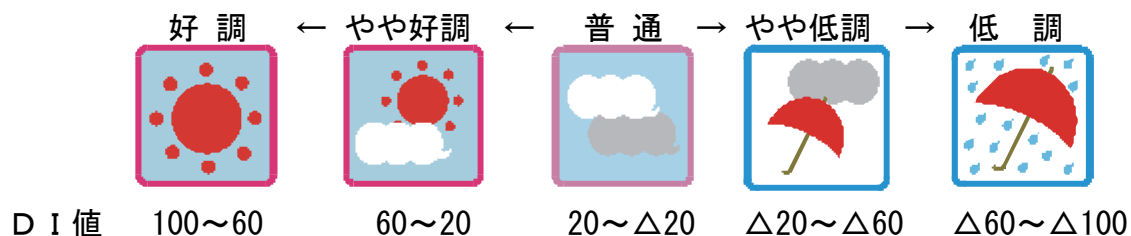
遠軽地方の景況感について、平成23年7月～9月期と比較した平成23年10月～12月期の業況判断D Iを見ると、「全業種」では、12.1ポイント改善の△20.9となりました。

業種別では、「卸売業・小売業」で前期比9.4ポイントの悪化が見られましたが、その他の業種では、「製造業」で3.9ポイント、「サービス業・不動産業」で39.1ポイント、「建設業」で21.2ポイント、それぞれ改善しました。

平成23年10月～12月期と比較した平成24年1月～3月期の予想については、「卸売業・小売業」の△65.6、「製造業」の△61.5など、各業種で今期D I値よりも低い予想となり、全業種では30.9ポイント悪化の△51.8という結果となりました。

	製造業	卸売業 小売業	サービス業 不動産業	建設業	全業種
平成23年7月～ 9月期の実績 (前期調査)					
(D I 値)	△23.1	△37.5	△56.5	△17.8	△33.0
平成23年10月 ～12月期の実績					
(D I 値)	△19.2	△46.9	△17.4	3.4	△20.9
平成24年1月～ 3月期の予想					
(D I 値)	△61.5	△65.6	△39.1	△37.9	△51.8

(マークの見方)



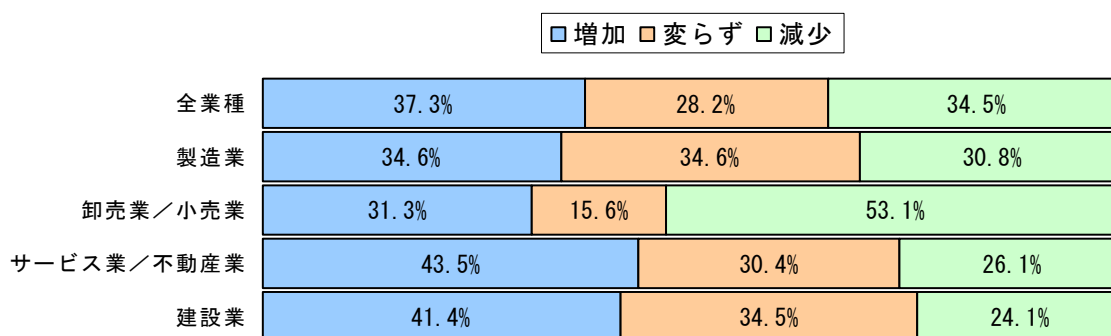
■ 売上状況

平成23年7月期～9月期と比較した平成23年10月期～12月期の売上状況D Iは、「全業種」で6.4ポイント改善し2.8となりました。業種別では、「製造業」で前期比3.9ポイントの悪化が見られたものの、「サービス業・不動産業」が前期△13.1から今期17.4と30.5ポイントの大幅な改善が見られ、その他の業種でも変化幅はわずかながら改善が見られる結果となりました。

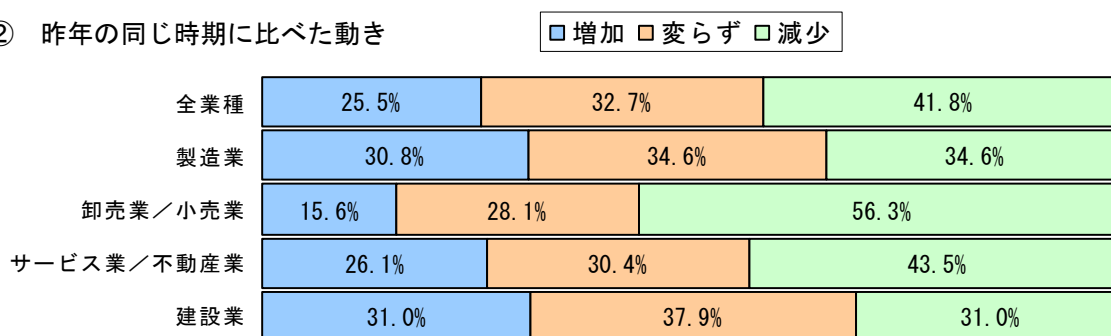
しかし、前年同期比較D Iは、「建設業」が0.0で昨年と同水準となったものの、その他の業種では、「卸売業・小売業」の△40.7を筆頭に前年よりも悪化しているとの結果であり、次期予想D Iでは全業種で今期よりも大幅な悪化が予想される結果となりました。

	今期実績D I	前期実績D I	変化幅	前年同期比較D I	次期予想D I
全業種	2.8	△ 3.6	+ 6.4	△ 16.3	△ 48.2
製造業	3.8	7.7	△ 3.9	△ 3.8	△ 50.0
卸売業・小売業	△ 21.8	△ 21.9	+ 0.1	△ 40.7	△ 43.8
サービス業・不動産業	17.4	△ 13.1	+ 30.5	△ 17.4	△ 30.4
建設業	17.3	13.8	+ 3.5	0.0	△ 65.6

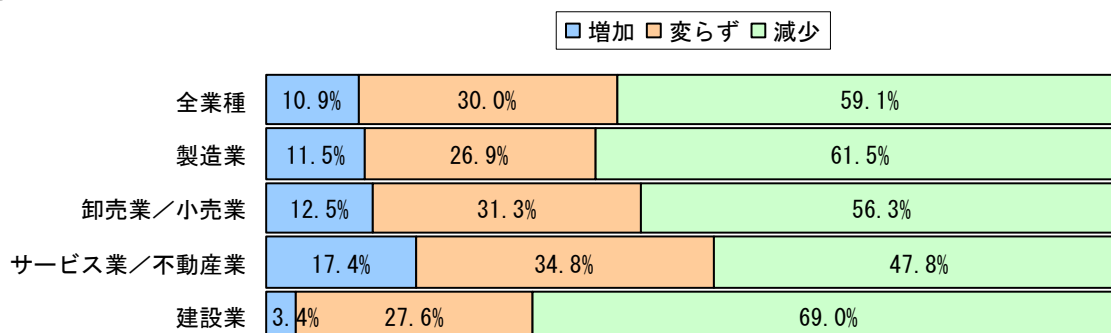
① 23年7月～9月期に比べた23年10月～12月期の実績



② 昨年の同じ時期に比べた動き



③ 23年10月～12月期に比べた24年1月～3月期の予想



■ 収益状況

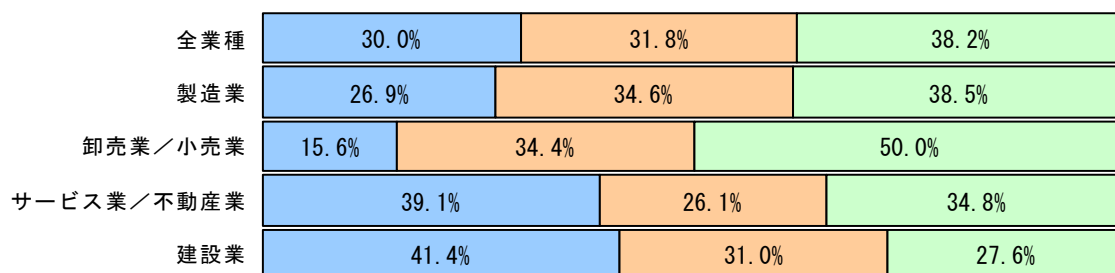
平成23年7月期～9月期と比較した平成23年10月期～12月期の収益状況D Iは、「全業種」で4.5ポイント改善し△8.2ポイントとなりました。業種別では、「サービス業・不動産業」及び「建設業」で前期比20ポイント以上の改善が見られたものの、「製造業」及び「卸売業・小売業」で15ポイント前後の悪化となったことから、全業種では小幅の改善となりました。

前年同期比較D Iは、売上状況では昨年並みとなった「建設業」を含む全ての業種で前年よりも悪化しているとの結果であり、次期予想D Iは売上状況と同様、全業種で今期よりも大幅に悪化するという予想結果となりました。

	今期実績D I	前期実績D I	変化幅	前年同期比較D I	次期予想D I
全業種	△ 8.2	△ 12.7	+ 4.5	△ 26.4	△ 50.0
製造業	△ 11.6	3.8	△ 15.4	△ 23.1	△ 65.4
卸売業・小売業	△ 34.4	△ 21.9	△ 12.5	△ 50.0	△ 43.7
サービス業・不動産業	4.3	△ 21.7	+ 26.0	△ 17.4	△ 30.4
建設業	13.8	△ 10.3	+ 24.1	△ 10.4	△ 58.6

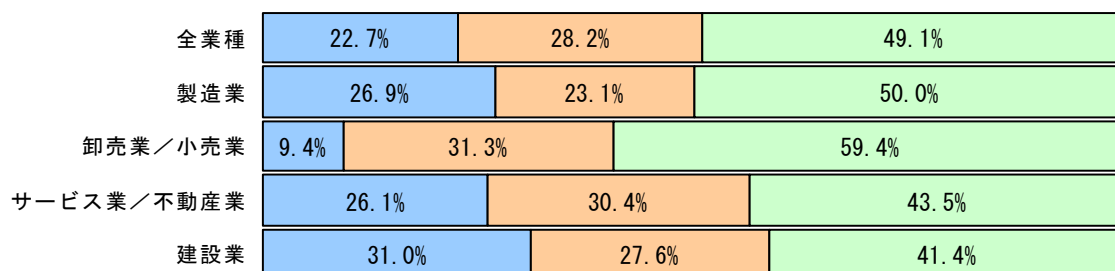
① 23年7月～9月期に比べた23年10月～12月期の実績

■ 増加 ■ 変わらず ■ 減少



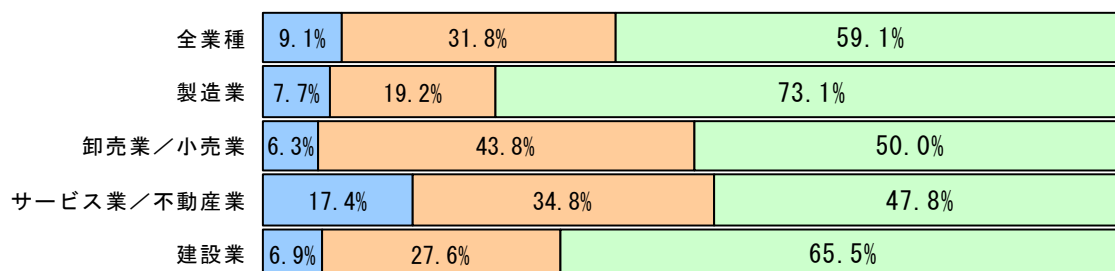
② 昨年の同じ時期に比べた動き

■ 増加 ■ 変わらず ■ 減少



③ 23年10月～12月期に比べた24年1月～3月期の予想

■ 増加 ■ 変わらず ■ 減少



■ その他の項目（※計数のみ）

1. 受注残（製造業・建設業のみ）

●23年10月～12月期実績

●24年1月～3月期予想

	増加	変わらず	減少	DI値		増加	変わらず	減少	DI値
製造業	11.5	53.8	34.6	△ 23.1	製造業	7.7	34.6	57.7	△ 50.0
建設業	34.5	44.8	20.7	13.8	建設業	6.9	31.0	62.1	△ 55.2

2. 施工高（建設業のみ）

●23年10月～12月期実績

●24年1月～3月期予想

	増加	変わらず	減少	DI値		増加	変わらず	減少	DI値
建設業	34.5	41.4	24.1	10.4	建設業	3.4	37.9	58.6	△ 55.2

3. 販売価格（製造業、卸売業／小売業、不動産業）、料金価格（サービス業）、請負価格（建設業）

●23年10月～12月期実績

●24年1月～3月期予想

	上昇	変わらず	下降	DI値		上昇	変わらず	下降	DI値
全業種	15.5	64.5	20.0	△ 4.5	全業種	12.7	66.4	20.9	△ 8.2
製造業	3.8	80.8	15.4	△ 11.6	製造業	3.8	80.8	15.4	△ 11.6
卸売業 小売業	34.4	43.8	21.9	12.5	卸売業 小売業	34.4	46.9	18.8	15.6
サービス業 不動産業	0.0	82.6	17.4	△ 17.4	サービス業 不動産業	4.3	78.3	17.4	△ 13.1
建設業	17.2	58.6	24.1	△ 6.9	建設業	3.4	65.5	31.0	△ 27.6

4. 原材料価格（製造業）、仕入価格（卸売業／小売業、不動産業）、材料価格（サービス業、建設業）

●23年10月～12月期実績

●24年1月～3月期予想

	上昇	変わらず	下降	DI値		上昇	変わらず	下降	DI値
全業種	45.0	48.6	6.4	38.6	全業種	33.9	57.8	8.3	25.6
製造業	50.0	46.2	3.8	46.2	製造業	30.8	65.4	3.8	27.0
卸売業 小売業	53.1	31.3	15.6	37.5	卸売業 小売業	50.0	34.4	15.6	34.4
サービス業 不動産業	36.4	59.1	4.5	31.9	サービス業 不動産業	31.8	59.1	9.1	22.7
建設業	37.9	62.1	0.0	37.9	建設業	20.7	75.9	3.4	17.3

5. 原材料在庫（製造業）、在庫（卸売業／小売業、不動産業、建設業）

●23年10月～12月期実績

●24年1月～3月期予想

	過剰	適正	不足	D I 値		過剰	適正	不足	D I 値
全業種	9.0	78.7	12.4	△ 3.4	全業種	7.9	80.9	11.2	△ 3.3
製造業	3.8	88.5	7.7	△ 3.9	製造業	3.8	88.5	7.7	△ 3.9
卸売業 小売業	18.8	68.8	12.5	6.3	卸売業 小売業	15.6	75.0	9.4	6.2
不動産業	0.0	0.0	100.0	△100.0	不動産業	0.0	0.0	100.0	△100.0
建設業	3.4	86.2	10.3	△ 6.9	建設業	3.4	86.2	10.3	△ 6.9

6. 資金繰り

●23年10月～12月期実績

●24年1月～3月期予想

	楽	変わらず	苦しい	D I 値		楽	変わらず	苦しい	D I 値
全業種	10.1	66.1	23.9	△ 13.8	全業種	6.4	63.3	30.3	△ 23.9
製造業	7.7	73.1	19.2	△ 11.5	製造業	3.8	69.2	26.9	△ 23.1
卸売業 小売業	9.7	58.1	32.3	△ 22.6	卸売業 小売業	9.7	61.3	29.0	△ 19.3
サービス業 不動産業	13.0	52.2	34.8	△ 21.8	サービス業 不動産業	8.7	47.8	43.5	△ 34.8
建設業	10.3	79.3	10.3	0.0	建設業	3.4	72.4	24.1	△ 20.7

(参考) 北海道全体の売上及び収益状況

1. 売上状況

●23年10月～12月期実績

●24年1月～3月期予想

	増加	変わらず	減少	D I 値		増加	変わらず	減少	D I 値
全業種	30.9	34.7	34.4	△ 3.5	全業種	13.7	38.5	47.7	△ 34.0

2. 収益状況

●23年10月～12月期実績

●24年1月～3月期予想

	増加	変わらず	減少	D I 値		増加	変わらず	減少	D I 値
全業種	23.2	42.8	34.0	△ 10.8	全業種	10.0	44.1	45.9	△ 36.0

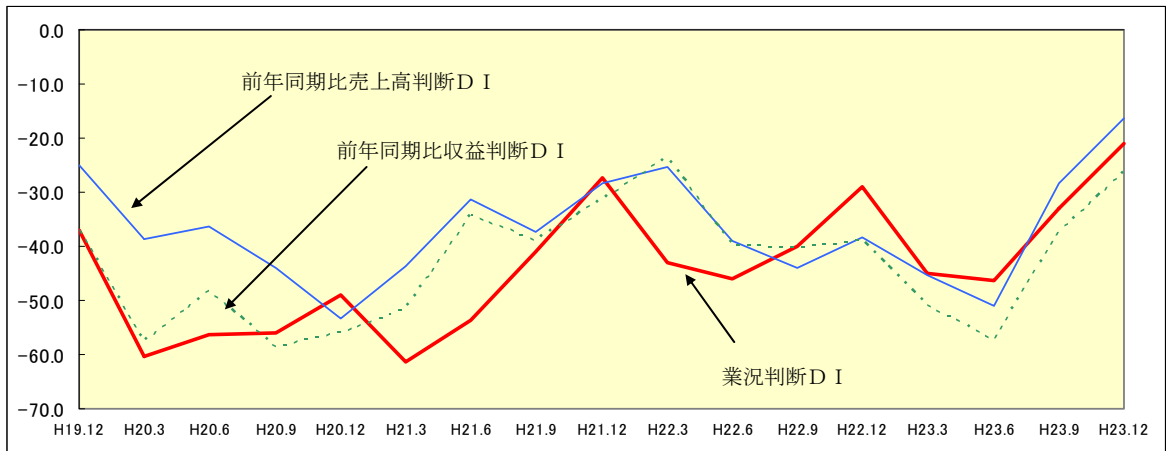
※ 全国中小企業景気動向調査（信金中央金庫実施）の調査結果に基づき算出しております。

※ 各項目のパーセンテージは、小数点以下第2位を四捨五入で表示しておりますので、合計が100%とならない場合やD I 値が一致しない場合があります。

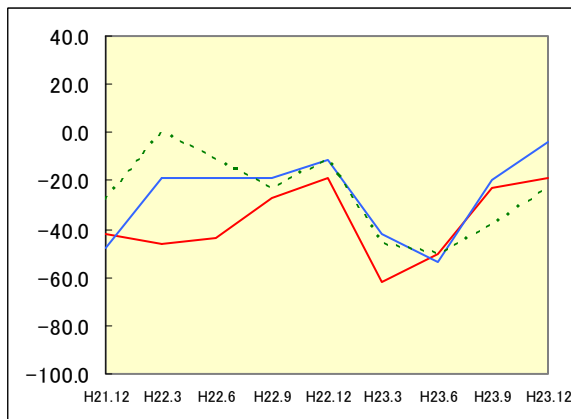
グラフで見る調査結果の推移

● 主要判断D I の推移

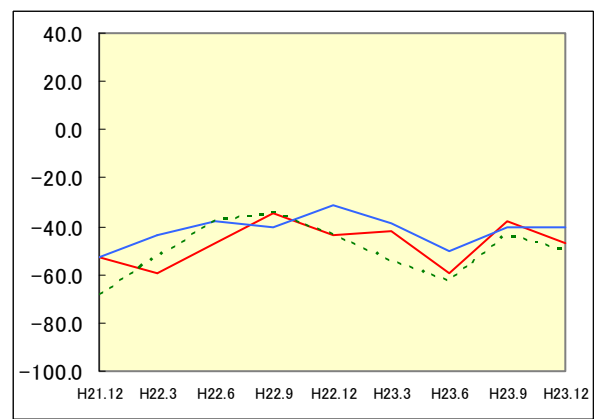
【全業種総合】



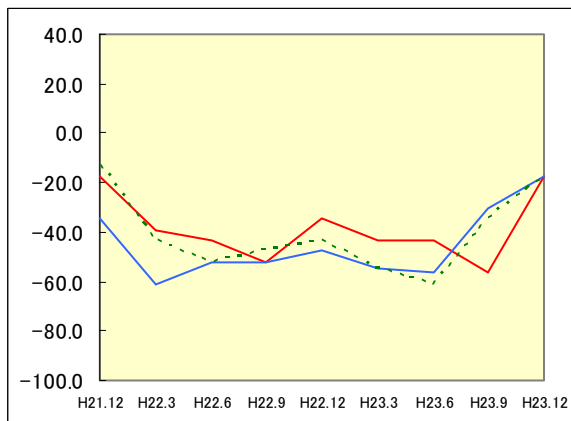
【製造業】



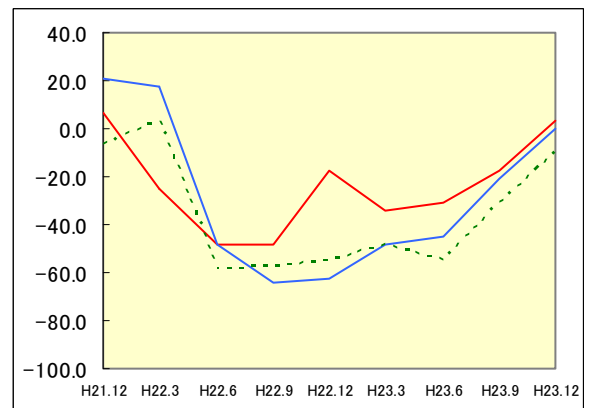
【卸売業・小売業】



【サービス業・不動産業】



【建設業】



【参考事項】

平成19年6月期～ 調査対象先：110先

特別調査『平成24年の経営見通し』

今回は、平成24年の経営見通しについて調査しました。

平成24年のわが国の景気見通しについては、「良い」（「非常に良い」・「良い」・「やや良い」の合計）と回答した割合が0.9%、「悪い」（「やや悪い」・「悪い」・「非常に悪い」の合計）が87.3%となりました。この結果、「良い－悪い」は△86.2となり、1年前（△85.3）と比べ状況に大きな変化はなく、依然、景気の見通しは厳しい結果となりました。

一方、自社の業況見通しを「良い－悪い」でみると、1年前の調査（△72.5）に比べて7.9ポイント上昇して△64.6となり、わが国の景気見通しと比べ、若干の改善が見られる結果となりました。

事業展開上、今後の成長・拡大を期待したい分野としては、「地域活性化・町おこし（50.9%）」が最も高い回答割合となり、次いで「環境・エネルギー（30.0%）」という結果となりました。

問1. 貴社では、平成24年の日本の景気をどのように見通していますか。次の中から1つ選んでお答えください。

1. 非常に良い	0.0%	5. やや悪い	40.0%
2. 良い	0.0%	6. 悪い	36.4%
3. やや良い	0.9%	7. 非常に悪い	10.9%
4. 普通	10.9%		

問2. 貴社では、平成24年の自社の業況（景気）をどのように見通していますか。次の中から1つ選んでお答えください。

1. 非常に良い	0.9%	5. やや悪い	40.9%
2. 良い	0.9%	6. 悪い	22.7%
3. やや良い	3.6%	7. 非常に悪い	6.4%
4. 普通	23.6%		

問3. 平成24年において貴社の売上額の伸び率は、平成23年に比べておおよそどのくらいになると見通していますか。次の中から1つ選んでお答えください。

1. 30%以上の増加	0.0%	6. 10%未満の減少	39.1%
2. 20～29%の増加	1.8%	7. 10～19%の減少	12.7%
3. 10～19%の増加	5.5%	8. 20～29%の減少	6.4%
4. 10%未満の増加	9.1%	9. 30%以上の減少	3.6%
5. 変わらない	20.0%		

問4. 貴社では、自社の業況が上向く転換点をいつ頃になると見通していますか。次の中から1つ選んでお答えください。

1. すでに上向いている	8.2%	5. 3年後	7.3%
2. 6か月以内	3.6%	6. 3年超	10.9%
3. 1年後	6.4%	7. 業況改善の見通しは立たない	43.6%
4. 2年後	14.5%		

問5. 貴社の事業展開上（売上げ・収益の増加などに向けて）、今後の成長・拡大を期待したいのはどのような分野ですか。次の1～9の中から最大3つまでお答えください。なお、特にないという方は、0を選択してください。

1. 環境・エネルギー	30.0%	6. IT関連（情報通信）	6.4%
2. 介護・医療	10.0%	7. 農林水産業	29.1%
3. 健康産業（食品、機器など）	6.4%	8. 地域活性化・町おこし	50.9%
4. 海外市場（海外展開、輸出など）	4.5%	9. その他	0.0%
5. 外国人向けビジネス（国内需要向け）	0.0%	0. 特にない	25.5%

※各項目のパーセンテージは、小数点以下第2位を四捨五入で表示しておりますので、合計が100%とまらない場合があります。